

祥しょう雲うん閣かく

たより vol.46

祥雲閣 からのお知らせ

4月に入り、春の陽気があふれる季節になりました。樹々の枝に新しい芽がふくらみ、葉が出る準備をしています。

祥雲閣では、茶道をはじめ日本の伝統文化に気軽に触れていただく機会を作るため、お雛様や五月人形、季節の茶道具などの展示をしています。四季折々の庭園を眺めながら、様々な道具や飾りをご覧くださいと共にご覧いただき、ぜひお茶とお菓子を味わっていただければと思います。

日曜日から金曜日は抹茶、土曜日は煎茶の提供を行っております。煎茶提供に合わせて、立礼茶室にて清泉幽茗流清泉会による文人華道の席飾りをご覧ください。



立礼茶室

テーブルと椅子を設置した立礼茶室（椅子にお掛けいただくお席）で、気軽にゆっくりとお茶とお菓子を楽しんでいただけます。



～祥雲閣

春の風景～

ぜひ祥雲閣の枝垂れ桜をご覧ください。

春はさまざまな花が咲きますが、日本人にとって桜は特別です。祥雲閣の庭園でも枝垂れ桜が咲きます。別名は八重紅枝垂れ。その名の通り垂れた枝に4月初旬から中旬まで濃いピンクの花が咲きます。

桜の開花予報に用いられるソメイヨシノはオオシマザクラとエドヒガンの交雑種です。桜餅の葉はオオシマザクラの葉を5月～8月に収穫し、半年から一年ほど塩漬けされたものだそうです。満開の桜とお茶と和菓子で春の色、香りを感じてみませんか。



季節によって変わる
茶室のしつらえと茶道具

掛物

「日々是好日」

良い事がある日も悪い事もある日もあります。自分にとって素晴らしい経験をしていると思えば、今日がかけがえのない日と思えてきます。

※諸説あります。



○●○ 季節の和菓子 ○●○

花見団子

桜の咲く頃の和菓子といえば「花見団子」です。花見の時に団子を食べるようになったのは、豊臣秀吉が春に茶会を開いた時に、団子を地味な白ではなく、三色の団子を披露したことが由来とされているそうです。その後、花見をしながら団子を楽しむという風習が日本中に浸透しました。

花見団子のピンク・白・緑の三色は桜の咲く春、雪の降る冬、葉が生い茂る夏を表しているそうです。秋がないのは“あきない”=(食べ)飽きないという意味があるとも言われているそうです。

※諸説あります。

茶席に入り、第一に拝見するのが掛物です。掛物とは床の間に掛けられる軸のことです。

季節の言葉や禅語などが書かれ、茶会の主題を表しています。



カレンダー

※ は休館日（変更する場合があります）

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①		1	2	3	4	5	⑥					1	2	③
2	3	4	5	6	7	⑧	7	8	9	10	11	12	⑬	4	5	6	7	8	9	⑩
9	10	11	12	13	14	⑮	14	15	16	17	18	19	⑳	11	12	13	14	15	16	⑰
16	17	18	19	20	21	㉒	21	22	23	24	25	26	㉓	18	19	20	21	22	23	㉔
23	24	25	26	27	28	㉕	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
30																				

◆◇◆ 祥雲閣のご案内 ◆◇◆

庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を気軽に味わえます。(10時～16時まで)

茶道をはじめ、箏・仕舞・謡・舞踊などの発表会やお稽古などにご利用いただけます。

貸館をご希望の方は、祥雲閣へお問い合わせ下さい。



◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

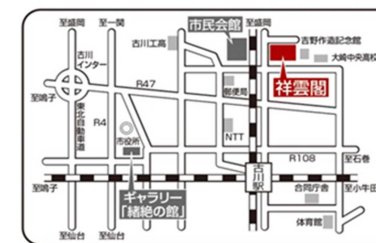
◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川ICより車で約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日
(月曜が祝日の場合は翌日)

◆入館料 無料



大崎市祥雲閣

令和5年 4月 4日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385